

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成30年度第4回情報教育研究委員会合同会議議事記録
情報教育研究委員会、情報リテラシー・情報倫理分科会、分野別情報教育分科会

I. 日 時：平成30年8月6日（月） 10:00～12:00

II. 場 所：私立大学情報教育協会会議室

III. 参加者：斎藤委員長、牧野委員(Skype)、笈アトバ伊、大原アトバ伊、玉田主査、金子委員、
児島主査、阿部委員、渡辺アトバ伊(Skype)
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

ICT 戦略大会分科会での提案に向けて、授業シナリオ・反転教材、専門教育との連携実践報告、推進方策などの内容を確認した。

1. 授業シナリオ・反転教材について、説明があり下記の意見があった。

(1) 到達目標 A（15分の反転教材）

- ・ 解決策発想過程、合理的判断過程、最適化による解の導出の練習で、「見方・考え方」、「領域固有の知識」の記述は外して、学修方法について説明してはどうか。
- ・ 「問題を上手に解決するには」上手い A 君の場合、目標、発想、実現性を考えることができるかと説明した方がよいのではないかと。
- ・ ワークシートは、次回授業への準備とする。

(2) 到達目標 B（10分の反転教材）

- ・ ワークシートの①～④は、次回授業への準備として記述させてはどうか。
- ・ 情報社会の利便性と危険性の表では、観点の部分で非対面を小型化に代えてはどうか。

2. ループリックについて下記の意見があった。

- ・ 到達目標 A では、調べることもあり観察力なども含まれているのではないかと。
- ・ 到達点を基準に3段階での評価とすることにした。

3. 推進方策について以下の意見があった。

- ・ 意見交流組織は、先生に理解いただく場として Net 上に準備ができないか。
- ・ 授業の進め方、教材の使い方、関連情報の紹介を行うことができないか。
- ・ 交流サイトで月単位での意見交換が委員会の運営で進められないか。
- ・ 回答のタイミングが要求されることから、Q&A の仕組みを作るなど考えられないか。

4. 分科会での発表スケジュール確認

- ・ 反転授業を前提とした3コマ授業教材とシナリオの紹介（60分）
- ・ 対面授業の教材（2件、15分）
- ・ 理系（機械工学）情報リテラシー教育授業の改善策（15分）
- ・ 教材有効性の検証方法、学修到達度の評価基準と評価方法（15分）

V. 今後のスケジュール

- ・ 委員会の意見を踏まえて資料を準備し、9月のICT戦略大会分科会Dで発表することになっている。